

計画平面図

S=1:2000



橋梁（底張有）

水路補修 施工延長 L=80.0m 令和6年度施工

No. 3+30.0

No. 2

白野川

図面番号	第 1 号 7 枚内
図面名称	古豊千地区水路補修工事（その1） 計画平面図
縮 尺	1:2000
製図年月日	令和 年 月 日
承認年月日	令和 年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

補修図 (1) (No. 2~No. 3) (1/3)

参考図
①洗い場

The diagram shows a rectangular structure with a total length of 900, a total width of 500, and a height of 250. A rectangular area at the front is shaded with diagonal lines and labeled '①洗い場' (washing area). Two rectangular areas on the side walls are also shaded with diagonal lines and labeled '②断面修復 (左官)' (side wall repair, left side) and '③断面修復 (右官)' (side wall repair, right side). The dimensions for these repair areas are given as 90 x 0.10 = 0.05m² for the left side and 90 x 0.16 = 0.14m² for the right side. A label '④表面被覆工 (洗い場)' (surface coating, washing area) with a dimension of 0.72m² (CAD計測) points to the top surface of the washing area.

900
500
250

①洗い場

②断面修復 (左官)
0.90 × 0.10 = 0.05m²

③断面修復 (右官)
0.90 × 0.16 = 0.14m²

④表面被覆工 (洗い場)
0.72m² (CAD計測)

断面修復工（左官）
0.50×0.10=0.05㎡ [1]

断面修復工（左官）
0.90×0.16=0.14㎡ [2]

表面被覆工（洗い場）
0.72㎡（CAD計測） [4] ○

No. Z+17.0

① 表面被覆工 (欄架)
10.82m² (CAD計測)

3 表面被覆工 (栅架)
 $17.0 \times 1.65 = 28.05 \text{m}^3$

下 流

R
2 表面被覆工 (柵梁)
11.05m² (CAD計測)

水路施設一覽表

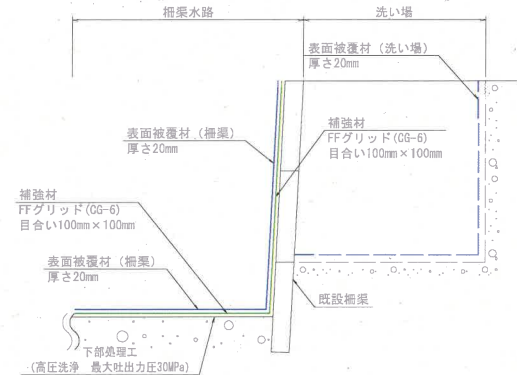
番号	施設	位置	測点	備考
①	洗い場	左岸	No. 2+6.0	
②	塩ビ管(φ50)	左岸	No. 2+7.7	
③	塩ビ管(φ50)	左岸	No. 2+14.0	
④	塩ビ管(φ50)	左岸	No. 2+17.7	
⑤	塩ビ管(φ50)	左岸	No. 2+24.8	
⑥	洗い場	左岸	No. 2+25.1	
⑦	塩ビ管(φ50)	左岸	No. 2+28.5	
⑧	ヒューム管(φ150)	右岸	No. 2+18.6	
⑨	塩ビ管(φ80)	左岸	No. 2+35.0	
⑩	洗い場	左岸	No. 2+39.8	
⑪	塩ビ管(φ50)	左岸	No. 2+42.9	
⑫	塩ビ管(φ80)	左岸	No. 2+49.8	

断面修復工（左官）		ひびわれ延長（単位：m）	
番号	数量（㎡）	1. 0mm未満（注入工）	1. 0mm～5. 0mm（充填工）
①	0.05		
②	0.14		
合計	0.19		

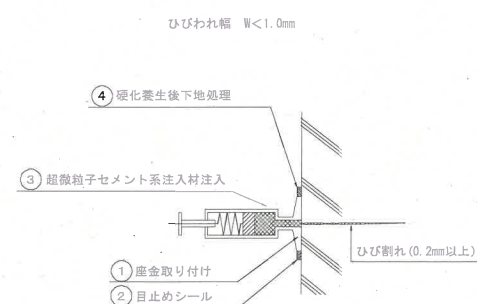
番号	1. 0mm未満（注入工）	1. 0mm～5. 0mm（充填工）	5. 0mm以上（充填工）
①	0.25（0.70mm）		
②	0.25（0.40mm）		
③	0.25（0.60mm）		
④		0.25（1.1mm）	
⑤	0.25（0.45mm）		
合計	1.0	0.25	

表面被覆工		(単位: m ²)
番号	t=20mm (洗い場)	t=20mm (楕圓)
[1]		10.82
[2]		11.05
[3]		28.05
[4]	0.72	
[5]		10.78
[6]		11.03
[7]		28.05
[8]	0.84	
[9]		10.13
[10]		10.40
[11]		26.40
[12]	0.84	
合計	2.40	146.7

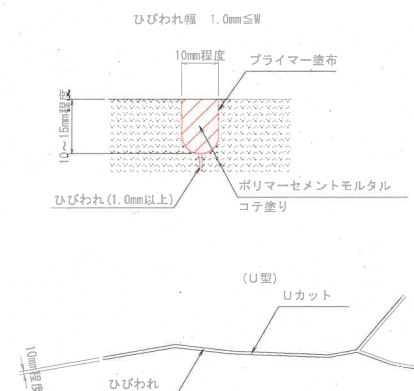
表面被覆工_柵渠区間 (参考図)



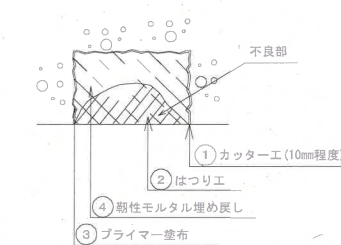
ひびわれ注入工(参考図)



ひびわれ充填工(参考図)



断面修復工_左官 (参考図)



※はつり工の深さは50mmと想定した。
①～④は施工順序を示す。
はつり内に鉄筋が存在した場合、防錆処置を行うこと。

施工上の注意点

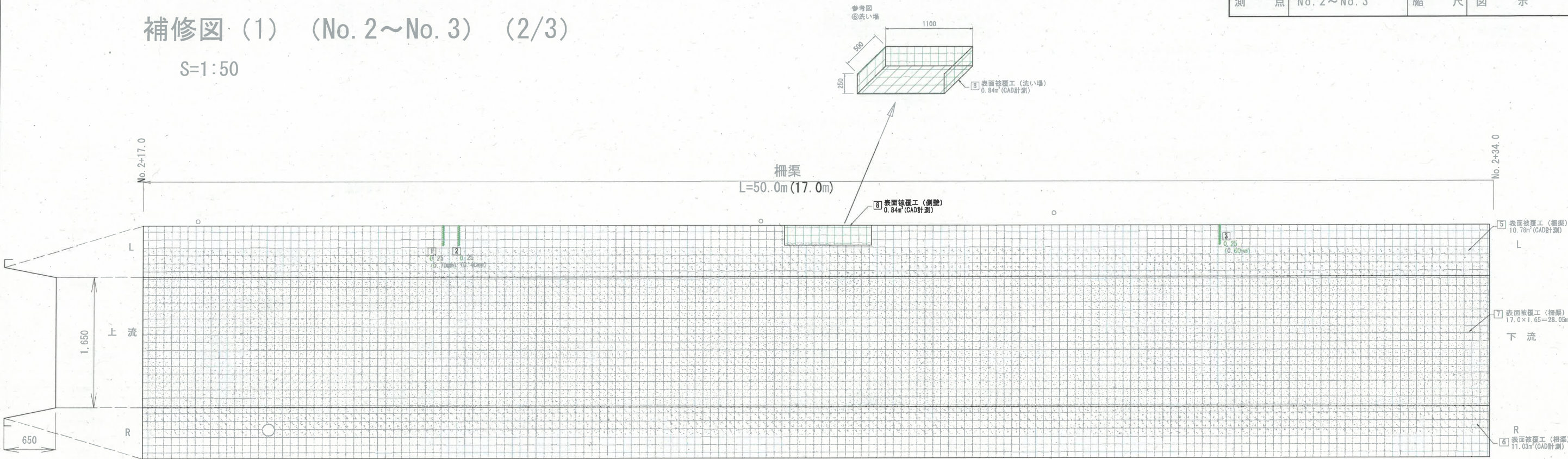
- ・本図面は簡易計測結果を基に作図しているため、施工にあたっては、事前に現地調査を行うこと。
- ・必要に応じて協議により補修内容・数量を決定すること。

図面番号	第 2 号 7 枚内
図面名称	古聖千地区水路補修工事 (その1) 補修図 (1) (No.2~No.3) (1/3)
縮 尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

地区名	東豊田用水路	施工年度	昭和48年
測点	No. 2～No. 3	縮尺	図示

補修図 (1) (No. 2～No. 3) (2/3)

S=1:50



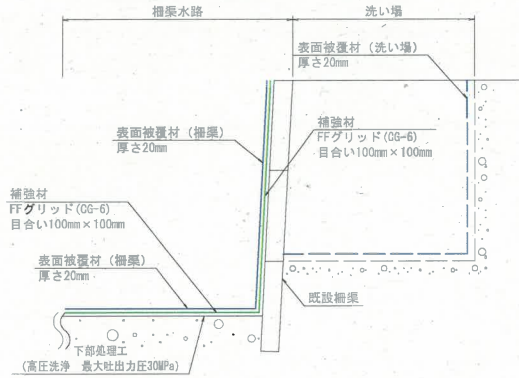
凡例	
クラック 1.0mm未満	ひび割れ注入工
クラック 1.0mm～5.0mm	ひび割れ充填工
クラック 5.0mm以上	
粗骨材剥落	
粗骨材露出	表面被覆工
粗骨材露出	
石積露出	表面被覆工 (被覆厚30mm)
欠損、剥離、浮き、ジャンカ	断面修復工 (修復深さ50mm)
目地劣化・欠損	目地充填工
開き	断面修復工 (充填・修復深さ50mm)
表面被覆工	表面被覆工 (石積: 被覆厚30mm)
	表面被覆工 (側壁: 被覆厚6mm)
	表面被覆工 (底版: 被覆厚10mm)
	表面被覆工 (柵渠: 被覆厚20mm)
土砂処理	土砂撤去
	張りコンクリート
	張りコンクリート
	埋め戻し

水路施設一覧表				
番号	施設	位置	測点	備考
①	洗い場	左岸	No. 2+6.0	
②	塩ビ管 (φ50)	左岸	No. 2+7.7	
③	塩ビ管 (φ50)	左岸	No. 2+14.0	
④	塩ビ管 (φ50)	左岸	No. 2+17.7	
⑤	塩ビ管 (φ50)	左岸	No. 2+24.8	
⑥	洗い場	左岸	No. 2+25.1	
⑦	塩ビ管 (φ50)	左岸	No. 2+28.5	
⑧	ヒューム管 (φ150)	右岸	No. 2+18.6	
⑨	塩ビ管 (φ80)	左岸	No. 2+35.0	
⑩	洗い場	左岸	No. 2+39.8	
⑪	塩ビ管 (φ50)	左岸	No. 2+42.9	
⑫	塩ビ管 (φ80)	左岸	No. 2+49.8	

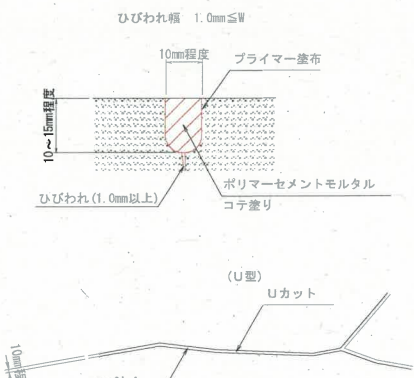
断面修復工 (左官)		ひびわれ延長 (単位: m)		
番号	数量 (m2)	1.0mm未満 (注入工)	1.0mm～5.0mm (充填工)	5.0mm以上 (充填工)
①	0.05	0.25 (0.70mm)		
②	0.14	0.25 (0.40mm)		
③	0.19	0.25 (0.60mm)		
④		0.25 (1.1mm)		
⑤		0.25 (0.45mm)		
合計		1.0	0.25	

表面被覆工 (単位: m2)		
番号	t=20mm (洗い場)	t=20mm (柵渠)
①		10.82
②		11.05
③		28.05
④	0.72	
⑤		10.78
⑥		11.03
⑦		28.05
⑧	0.84	
⑨		10.13
⑩		10.40
⑪		26.40
⑫	0.84	
合計	2.40	146.7

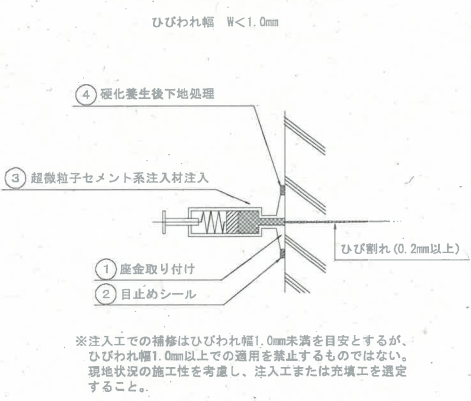
表面被覆工 柵渠区間 (参考図)



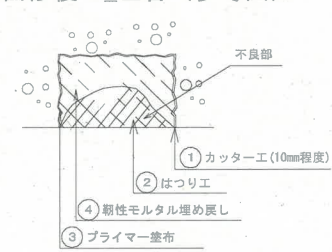
ひびわれ充填工 (参考図)



ひびわれ注入工 (参考図)



断面修復工 左官 (参考図)



※はつり工の深さは50mmと想定した。
①～④は施工順序を示す。
はつり内に鉄筋が存在した場合、防錆処置を行うこと。

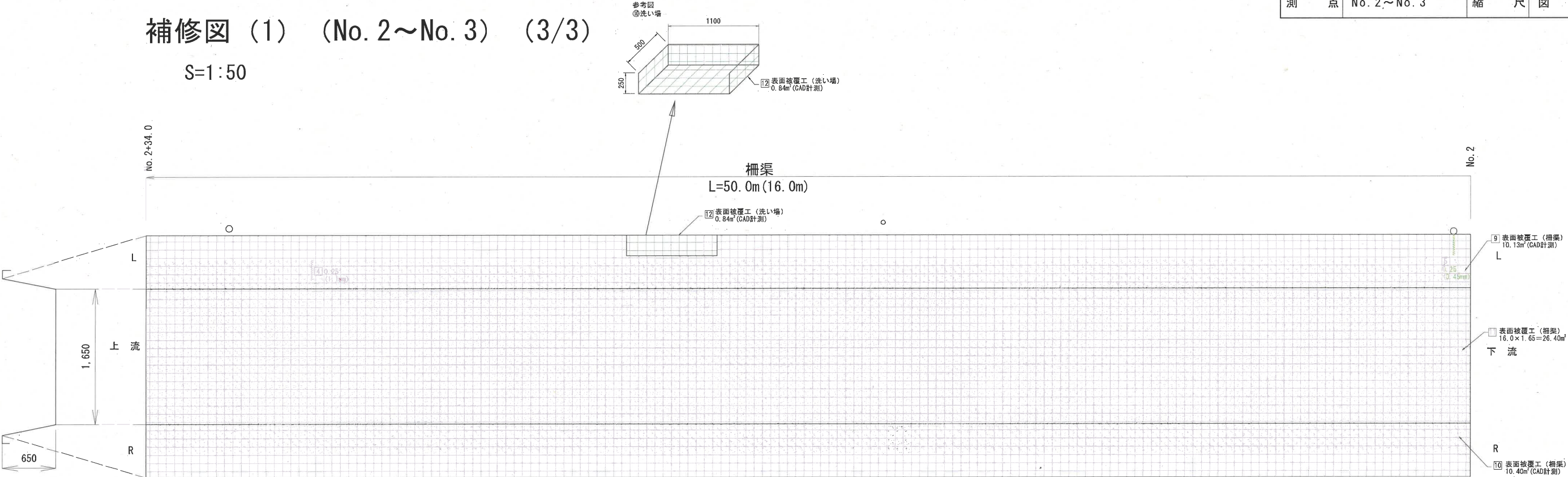
施工上の注意
・本図面は簡易計測結果を基に作成しているため、施工にあたっては、事前に現地調査を行うこと。
・必要に応じて協議により補修内容・数量を決定すること。

図面番号	第 3 号 7 枚内
図面名称	古豊田地区水路補修工事 (その1) 補修図 (1) (No. 2～No. 3) (2/3)
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
承認年月日	令和 年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

地区名	東豊田水路	施工年度	昭和48年
測点	No. 2~No. 3	縮尺	図示

補修図 (1) (No. 2~No. 3) (3/3)

S=1:50



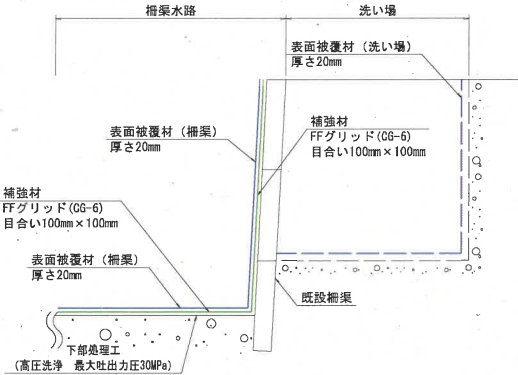
凡例		
クラック 1.0mm未満		ひび割れ注入工
クラック 1.0mm~5.0mm		ひび割れ充填工
クラック 5.0mm以上		
粗骨材剥落		
細骨材露出		表面被覆工
粗骨材露出		
石積露出		表面被覆工 (被覆厚30mm)
欠損、剥離、浮き、ジャンカ		断面修復工 (修復深さ50mm)
目地劣化・欠損		目地充填工
開き		断面修復工 (充填: 修復深さ50mm)
表面被覆工		表面被覆工 (石積: 被覆厚30mm)
		表面被覆工 (側壁: 被覆厚6mm)
		表面被覆工 (底版: 被覆厚10mm)
		表面被覆工 (柵渠: 被覆厚20mm)
土砂堆積		表面被覆工 (洗い場: 被覆厚20mm)
張りコンクリート		土砂撤去
埋め戻し		張りコンクリート
		埋め戻し

水路施設一覧表				
番号	施設	位置	測点	備考
①	洗い場	左岸	No. 2+6.0	
②	塩ビ管 (φ50)	左岸	No. 2+7.7	
③	塩ビ管 (φ50)	左岸	No. 2+14.0	
④	塩ビ管 (φ50)	左岸	No. 2+17.7	
⑤	塩ビ管 (φ50)	左岸	No. 2+24.8	
⑥	洗い場	左岸	No. 2+25.1	
⑦	塩ビ管 (φ50)	左岸	No. 2+28.5	
⑧	ヒューム管 (φ150)	右岸	No. 2+18.6	
⑨	塩ビ管 (φ80)	左岸	No. 2+35.0	
⑩	洗い場	左岸	No. 2+39.8	
⑪	塩ビ管 (φ50)	左岸	No. 2+42.9	
⑫	塩ビ管 (φ80)	左岸	No. 2+49.8	

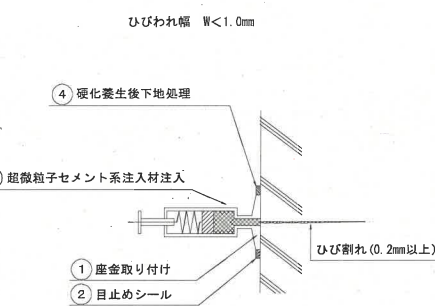
断面修復工 (左官)		ひびわれ延長 (単位: m)		
番号	数量 (m2)	1.0mm未満 (注入工)	1.0mm~5.0mm (充填工)	5.0mm以上 (充填工)
①	0.05	0.25 (0.70mm)		
②	0.14	0.25 (0.40mm)		
③		0.25 (0.60mm)		
④			0.25 (1.1mm)	
⑤		0.25 (0.45mm)		
合計	0.19	1.0	0.25	

表面被覆工 (単位: m2)		
番号	t=20mm (洗い場)	t=20mm (柵渠)
①		10.82
②		11.05
③		28.05
④	0.72	
⑤		10.78
⑥		11.03
⑦		28.05
⑧	0.84	
⑨		10.13
⑩		10.40
⑪		26.40
⑫	0.84	
合計	2.40	146.7

表面被覆工_柵渠区間 (参考図)

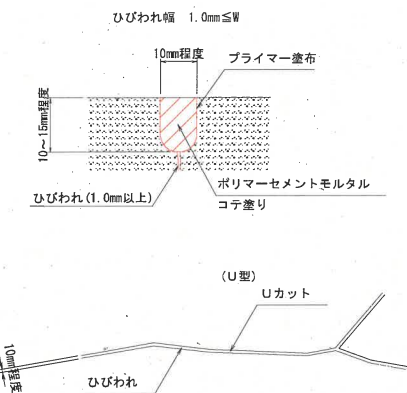


ひびわれ注入工 (参考図)

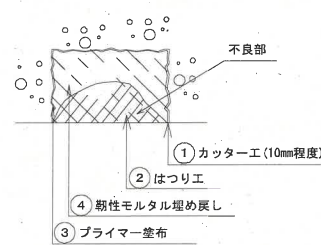


※注入工での補修はひびわれ幅1.0mm未満を目安とするが、ひびわれ幅1.0mm以上の適用を禁止するものではない。現地状況の施工性を考慮し、注入工または充填工を選定すること。

ひびわれ充填工 (参考図)



断面修復工_左官 (参考図)



※はつり工の深さは50mmと想定した。
①~④は施工順序を示す。
はつり内に鉄筋が存在した場合、防錆処理を行うこと。

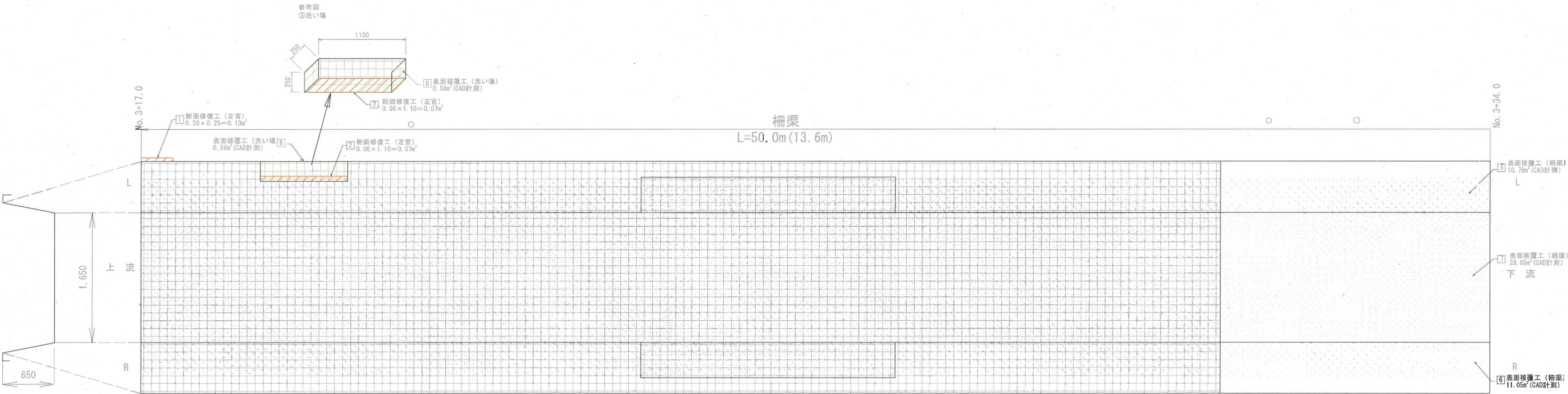
施工上の注意
・本図面は簡易計測結果を基に作図しているため、施工にあたっては、事前に現地調査を行うこと。
・必要に応じて協議により補修内容・数量を決定すること。

図面番号	第 4 号 7 枚内
図面名称	古豊干地区水路補修工事 (その1) 補修図 (1) (No. 2~No. 3) (3/3)
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
承認年月日	令和 年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

地区名	東豊田用水路	施工年度	昭和48年
測点	No. 3～No. 4	縮尺	図示

補修図 (2) (No. 3～No. 4) (2/3)

S=1:50

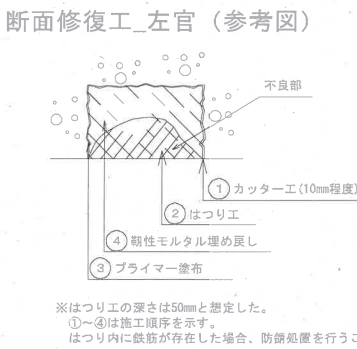
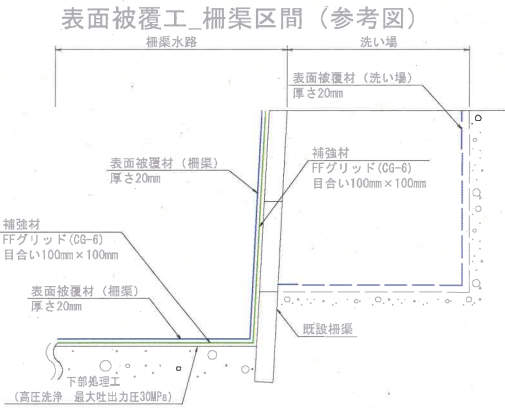


凡例		
クラック 1.0mm未満		ひび割れ注入工
クラック 1.0mm～5.0mm		ひび割れ充填工
クラック 5.0mm以上		ひび割れ充填工
粗骨材剥落		表面被覆工
細骨材露出		表面被覆工
粗骨材露出		表面被覆工
石積露出		表面被覆工 (被覆厚30mm)
欠損、剥離、浮き、ジャンカ		断面修復工 (修復深さ50mm)
目地劣化・欠損		目地充填工
開き		断面修復工 (充填・修復深さ50mm)
表面被覆工		表面被覆工 (石積: 被覆厚30mm)
		表面被覆工 (割壁: 被覆厚6mm)
		表面被覆工 (底版: 被覆厚10mm)
		表面被覆工 (側渠: 被覆厚20mm)
土砂増積		土砂増積
		土砂増積
張りコンクリート		張りコンクリート
埋め戻し		埋め戻し

水路施設一覧表				
番号	施設	位置	測点	備考
①	洗い場	左岸	No. 3+7.7	
②	塩ビ管 (φ100)	左岸	No. 3+16.7	
③	洗い場	左岸	No. 3+18.5	
④	塩ビ管 (φ65)	左岸	No. 3+20.4	
⑤	塩ビ管 (φ65)	左岸	No. 3+31.2	
⑥	塩ビ管 (φ75)	左岸	No. 3+32.3	
⑦	塩ビ管 (φ100)	左岸	No. 3+44.9	
⑧	塩ビ管 (φ100)	左岸	No. 3+46.2	

断面修復工 (左官)		
番号	数量 (m2)	
①	0.13	
②	0.07	
③	0.05	
④	0.05	
合計	0.30	

表面被覆工 (単位: m2)		
番号	t=20mm (洗い場)	t=20mm (側渠)
①		10.78
②		11.05
③		28.05
④	0.84	
⑤		8.62
⑥		8.84
⑦		22.16
⑧	0.56	
合計	1.40	89.5



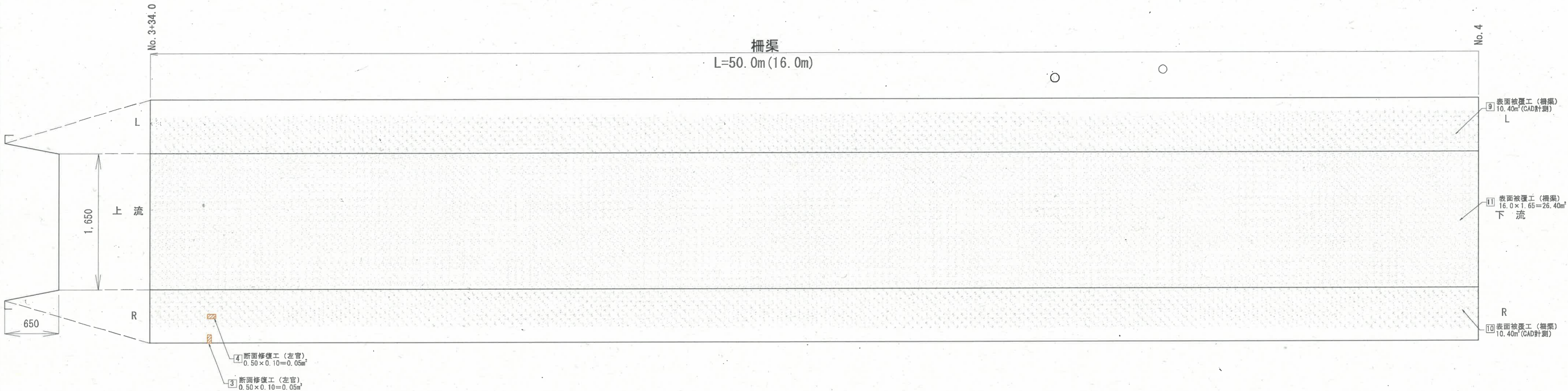
施工上の注意
・本図面は簡易計測結果を基に作成しているため、施工にあたっては、事前に現地調査を行うこと。
・必要に応じて協議により補修内容・数量を決定すること。

図面番号	第 6 号 7 枚内
図面名称	古豊田地区水路補修工事 (その1) 補修図 (2) (No. 3～No. 4) (2/3)
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
承認年月日	令和 年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

地区名	東豊田用水路	施工年度	昭和48年
測点	No. 3～No. 4	縮尺	図示

補修図 (2) (No. 3～No. 4) (3/3)

S=1:50



凡例

クラック 1.0mm未満		ひび割れ注入工
クラック 1.0mm～5.0mm		ひび割れ充填工
クラック 5.0mm以上		
粗骨材剥落		表面被覆工
細骨材露出		
粗骨材露出		
石積露出		表面被覆工 (被覆厚30mm)
欠損、剥離、浮き、ジャンカ		断面修復工 (修復深さ50mm)
目地劣化、欠損		目地充填工
開き		断面修復工 (充填: 修復深さ50mm)
表面被覆工		表面被覆工 (石積: 被覆厚30mm)
		表面被覆工 (側壁: 被覆厚6mm)
		表面被覆工 (底版: 被覆厚10mm)
		表面被覆工 (欄渠: 被覆厚20mm)
土砂堆積		表面被覆工 (洗い場: 被覆厚20mm)
張りコンクリート		土砂撤去
埋め戻し		張りコンクリート
		埋め戻し

水路施設一覧表

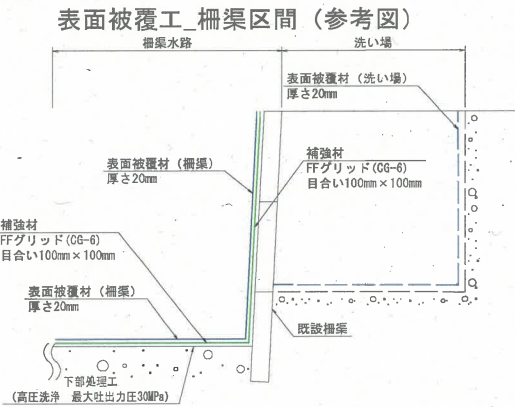
番号	施設	位置	測点	備考
①	洗い場	左岸	No. 3+7.7	
②	塩ビ管 (φ100)	左岸	No. 3+16.7	
③	洗い場	左岸	No. 3+18.5	
④	塩ビ管 (φ65)	左岸	No. 3+20.4	
⑤	塩ビ管 (φ65)	左岸	No. 3+31.2	
⑥	塩ビ管 (φ75)	左岸	No. 3+32.3	
⑦	塩ビ管 (φ100)	左岸	No. 3+44.9	
⑧	塩ビ管 (φ100)	左岸	No. 3+46.2	

断面修復工 (左官)

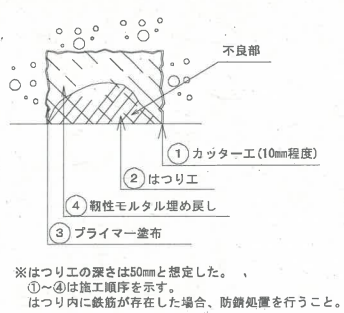
番号	数量 (m2)
①	0.13
②	0.07
③	0.05
④	0.05
合計	0.30

表面被覆工 (単位: m2)

番号	t=20mm (洗い場)	t=20mm (欄渠)
①		10.78
②		11.05
③		28.05
④	0.84	
⑤		8.62
⑥		8.84
⑦		22.16
⑧	0.56	
合計	1.40	89.5



断面修復工_左官 (参考図)



施工上の注意点
・本図面は簡易計測結果を基に作成しているため、施工にあたっては、事前に現地調査を行うこと。
・必要に応じて協議により補修内容・数量を決定すること。

図面番号	第 7 号 7 枚内
図面名称	古豊田地区水路補修工事 (その1) 補修図 (2) (No. 3～No. 4) (3/3)
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写真年月日	令和 年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課	